

令和4年度出水対応の振り返り結果 について

令和5年3月17日（金）

太田川水防災タイムライン検討会

各機関からの振り返り内容

改善策・問題点等

○広島県道路河川管理課

- ・体制移行や災害対策本部の設置に関して、タイムライン運用の開始が想定される場合は事前に人員を調整

○広島市河川防災課

- ・災害対策本部の設置に関して、連絡体制を強化

○東区

- ・警戒体制への移行や災害警戒本部・災害対策本部設置に関して、各要員の役割を明確化
- ・高齢者等避難や避難指示の発令・伝達に関して、避難情報の発令操作研修を実施

○安佐南区

- ・ホットラインに関して、出水期前に調整

○広島県山県警察署

- ・関係機関との平時からの情報交換や関係強化
- ・現場からの退避(現場判断)に関して、撤退判断の早期化

○中国電力ネットワーク(株)

- ・リエゾンの派遣時に、派遣要員全員が一様に備えるのではなく、予め対応日を割り当てる。

○(公社)広島県バス協会

- ・タイムライン立ち上げ等のメールが届かないことについて、メーリングリストの整理

○広島市防災士ネットワーク

- ・要配慮者や住民の避難支援等において、洪水時の行動規定を作成し、連絡調整等を行うようにする。

○広島県医師会

- ・医療機関、医療従事者の被害状況を迅速に把握するための手順整理
- ・各種調整のため、市区郡地区医師会や広島県との連携強化に努める。
- ・医療救護班(JMAT)派遣のための体制整備と活動内容の明確化(文書化)の必要

○国土交通省広島国道事務所 防災情報課

- ・現有システムの動作確認等における遠隔装置による確認
- ・通行止め情報の提供におけるSNSの利用